



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮下 浩

TEL 0268-82-3000

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	24,977	20.0	1,601	30.9	1,707	42.4	1,259	20.5
2022年3月期第2四半期	20,822	9.3	1,223	246.8	1,198	196.5	1,583	493.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,515百万円 (56.5%) 2022年3月期第2四半期 2,245百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	64.56	63.18
2022年3月期第2四半期	81.19	79.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	74,027	40,201	53.6
2022年3月期	68,852	36,938	52.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 39,657百万円 2022年3月期 36,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		15.00	30.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当金15.00円 創業75周年記念配当金5.00円

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	4.7	3,000	16.4	3,100	5.4	1,900	29.1	97.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	22,272,000 株	2022年3月期	22,272,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,768,705 株	2022年3月期	2,768,705 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	19,503,295 株	2022年3月期2Q	19,503,350 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の悪化に伴う原油・原材料価格の高騰や中国のゼロコロナ政策による主要都市のロックダウンの影響および欧米を中心にインフレが加速する中、経済成長は鈍化傾向にありました。我が国経済におきましては、米国の政策金利の引き上げに伴う円安が顕著となったことおよび資源価格等の物価上昇から先行きは不透明な状況であります。

当社グループが属する射出成形機業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により停滞した需要が回復傾向であったものの、半導体等の原材料不足および欧米地域でのインフレの加速、中国での都市封鎖等を要因に需要の停滞が予測され、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、セールス、プロダクト、商品、リスク等の全ての企業活動を環境視点から考える環境対応技術のビジネス化および展示会、内覧会等を活用した提案型営業を展開いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループの主力である射出成形機の需要が堅調に推移したこと等から売上高合計は249億7千7百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が191億5千7百万円（前年同四半期比20.2%増）、周辺機器売上高が9億8百万円（同8.0%増）、部品売上高が38億5千8百万円（同25.2%増）、金型等売上高が10億5千2百万円（同10.1%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は16億1百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。また経常利益は17億7百万円（前年同四半期比42.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億5千9百万円（同20.5%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

① 日本

自動車関連および工業部品関連からの需要が堅調であったこと等から、売上高（外部売上高）は77億1千1百万円（前年同四半期比7.0%増）、セグメント利益は17億3千4百万円（同187.2%増）となりました。

② 欧米地域

自動車関連の需要が好調であったこと等から、売上高（外部売上高）は120億7千1百万円（前年同四半期比70.0%増）、セグメント利益は3億7千5百万円（同56.0%増）となりました。

③ アジア地域

中国の都市封鎖による需要の停滞等から、売上高（外部売上高）は51億9千4百万円（前年同四半期比20.2%減）、セグメント利益は7千万円（同79.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債および純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度に比べ51億7千5百万円増加し、740億2千7百万円となりました。主たる増加要因は、商品及び製品の増加20億8千4百万円および原材料及び貯蔵品の増加19億1千6百万円ならびに仕掛品の増加18億8千3百万円であり、主たる減少要因は、現金及び預金の減少17億5千1百万円および受取手形、売掛金及び契約資産の減少16億1千4百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億1千2百万円増加し、338億2千6百万円となりました。主たる増加要因は、短期借入金の増加16億2千6百万円および長期借入金の増加9億4千9百万円であり、主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少9億9千7百万円および退職給付に係る負債の減少1億2百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ32億6千2百万円増加し、402億1百万円となりました。

② キャッシュ・フローの分析

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、△32億6千7百万円（前年同四半期実績は24億6千4百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、税金等調整前四半期純利益17億7百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、棚卸資産の増加40億3千3百万円および仕入債務の減少17億2千1百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△10億3千2百万円（前年同四半期実績は△2億2千9百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、定期預金の払戻による収入1億8千9百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出10億9千6百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、21億8千4百万円（前年同四半期実績は△14億3百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、長期借入金の借入による収入20億3千6百万円および短期借入金の純増額15億4千6百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出10億5千5百万円および配当金の支払額2億9千2百万円であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ59億2千2百万円減少し90億3千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、本資料の開示時点において、2022年5月13日に公表した各予想値を修正しておりません。今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,781	9,030
受取手形、売掛金及び契約資産	10,606	8,992
電子記録債権	638	832
商品及び製品	9,419	11,504
仕掛品	4,413	6,296
原材料及び貯蔵品	11,672	13,588
未収入金	2,390	2,677
その他	1,380	2,026
貸倒引当金	△469	△508
流動資産合計	50,834	54,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,212	6,591
機械装置及び運搬具(純額)	1,543	1,627
土地	4,625	4,787
その他	1,015	1,717
有形固定資産合計	13,397	14,724
無形固定資産		
投資その他の資産	572	541
投資有価証券	1,939	1,916
その他	2,111	2,406
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,048	4,321
固定資産合計	18,018	19,587
資産合計	68,852	74,027
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,252	13,254
短期借入金	433	2,060
1年内返済予定の長期借入金	1,744	1,975
引当金	332	392
その他	5,725	5,835
流動負債合計	22,489	23,518
固定負債		
長期借入金	5,869	6,818
退職給付に係る負債	3,140	3,038
その他	414	451
固定負債合計	9,424	10,307
負債合計	31,913	33,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,334	5,334
利益剰余金	25,944	26,910
自己株式	△1,539	△1,539
株主資本合計	35,102	36,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	711	694
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	607	2,878
退職給付に係る調整累計額	18	15
その他の包括利益累計額合計	1,335	3,588
新株予約権	282	322
非支配株主持分	218	221
純資産合計	36,938	40,201
負債純資産合計	68,852	74,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	20,822	24,977
売上原価	14,130	16,847
売上総利益	6,691	8,129
販売費及び一般管理費	5,468	6,527
営業利益	1,223	1,601
営業外収益		
受取利息	21	13
受取配当金	43	70
デリバティブ評価益	—	84
その他	85	132
営業外収益合計	150	299
営業外費用		
支払利息	97	58
為替差損	10	115
デリバティブ評価損	19	—
リース解約損	38	—
その他	10	19
営業外費用合計	175	194
経常利益	1,198	1,707
特別利益		
固定資産売却益	1,165	—
特別利益合計	1,165	—
特別損失		
子会社移転費用	63	—
特別退職金	20	—
特別損失合計	83	—
税金等調整前四半期純利益	2,280	1,707
法人税等	702	457
四半期純利益	1,577	1,249
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,583	1,259

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,577	1,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270	△17
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	403	2,282
退職給付に係る調整額	△8	△2
その他の包括利益合計	668	2,265
四半期包括利益	2,245	3,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,251	3,512
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,280	1,707
減価償却費	598	773
固定資産売却益	△1,168	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40	29
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△67	△122
受取利息及び受取配当金	△64	△83
支払利息	97	46
売上債権の増減額 (△は増加)	1,477	726
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,925	△4,033
未収消費税等の増減額 (△は増加)	429	663
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,401	△1,721
その他	571	△344
小計	2,663	△2,370
利息及び配当金の受取額	63	83
利息の支払額	△124	△53
法人税等の支払額	△137	△926
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,464	△3,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	189
有形固定資産の取得による支出	△1,496	△1,096
有形固定資産の売却による収入	1,366	—
無形固定資産の取得による支出	△99	△125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229	△1,032
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,652	1,546
長期借入れによる収入	1,700	2,036
長期借入金の返済による支出	△1,098	△1,055
配当金の支払額	△291	△292
自己株式の取得による支出	△0	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△60	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,403	2,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	544
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	832	△1,571
現金及び現金同等物の期首残高	14,119	10,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,952	9,030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	7,208	7,100	6,513	20,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,793	154	6,037	15,985
計	17,002	7,254	12,550	36,807
セグメント利益	604	240	338	1,183

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,183
セグメント間取引消去	40
四半期連結損益計算書の営業利益	1,223

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	7,711	12,071	5,194	24,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,810	60	4,455	14,326
計	17,522	12,131	9,650	39,304
セグメント利益	1,734	375	70	2,180

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,180
セグメント間取引消去	△578
四半期連結損益計算書の営業利益	1,601

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。